

これからの福祉の

あり方を考える

第23回南国市社会福祉大会

第二十三回南国市社会福祉大会が九月二日、百七十四人が参加して、市社会福祉センターで開かれました。

この大会は、福祉関係者が今後の方向を研さんし合い、支え合いによる社会づくりに寄与するとともに、今日まで福祉活動に多大の貢献をされた方々を顕賞するもので、南国市社会福祉協議会と南国市が主催。

午前中、長年にわたり福祉活動に貢献された十五名の方々が表彰

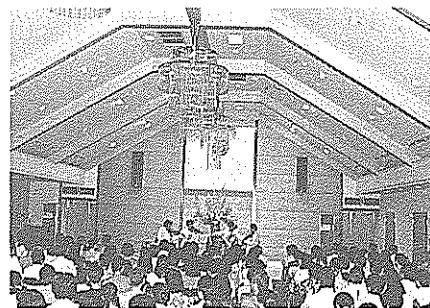


講演する瀬川一人氏

されました。午後は、まず大阪市シルバーボランティアセンターの瀬川一人所長が、「これからの社会福祉活動」について、「保護中心の福祉は真の生活を奪ってしまう。これからの福祉は、地域住民の支援によらなければならない」と講演し、参加者は熱心に聞き入っていました。引き続き現状への問題提起及び意見交換が行われ、今後の活動について話し合いました。

心を開放し 心身を活性化 日本フイル四重奏の夕べ

心を開放し、感性を揺り動かし、心身を活性化するような文化的体験



会場いっぱい聴衆を集めて...

験の機会を——と日本フイルハーモニ二の弦楽四重奏を迎え「日本フイル四重奏の夕べ」が、八月二十八日、南国市商工会館で開かれ、二百四十人の聴衆を集めました。今回のコンサートは、一昨年に引き続き二回目で、南国市日本フイルを聞く会の主催で行われました。

今回のコンサートでは、ドボルザークの「アメリカ」、シヨスタコービッチの「弦楽四重奏十番」のほか、「イエスタデイ」や「雨に濡れて」の映画音楽なども演奏されました。

すばらしい芸術に、直接触れる機会を得ることはそうあるものではありません。

この日集まった方々は、たつぷりと生の音楽を味わっていました。

史跡巡りで 健康を 国府で歩こう会

史跡を巡り健康を——と、九月五日、国府で歩こう会が開かれました。

これは、「歩く」ことが健康に必要な適度な運動になることから、国府地区健康づくり推進会（乾常美会長）の呼び掛けで、毎月行わ



一路国分寺へ（国分川右岸）

れているものです。この日の参加者は十七人で、朝六時に紀氏邸跡を出発。めっきり涼しくなった風を受けながら、国分川の土手を通り国分寺へと歩を進めていきました。

途中、道端に落ちていた空き缶を拾いながらの行進で、歩こう会が、健康づくりとともに地域の美化にも役立てられていました。

また、この日野田地区でも健康づくり推進会の主催で歩こう会が行われ、十七人が参加しました。



白壁に沿って

おわびと訂正

九月一日号広報なんごく七ペーシの「南国俳壇」おがたま会会の「三宮亀子」さんは「三宮亀子」さんの誤りでした。おわびして訂正いたします。